



あたらしく、知多らしく。

梅香る わたしたちの緑園都市

令和7年3月3日（月）

知多市報道発表資料

秘書広報課

担当：広報チーム 岡本

(0562-36-2642)

「広報ちた」が愛知県広報コンクールの 広報紙部門と広報写真部門で入選

令和6年度愛知県広報コンクールにおいて、フットサルのプロチーム・名古屋オーシャンズを特集で紹介した広報ちた6月号が広報紙部門で、戦争と平和を考える特集に合わせ防空壕と幼い兄妹を撮影した広報ちた8月号の表紙が広報写真部門で、それぞれ入選に選ばれました。広報ちたが広報紙部門で入選したのは、4年連続です。

1 愛知県広報コンクールの概要

愛知県では、市町村の広報技術の向上を図るため、広報媒体として発行・発表した広報紙、広報写真、映像の3部門5区分の中から優秀な作品を選奨している。広報紙部門は記事の切り口の発想性、文章の表現力・読みやすさ、デザインなどを、広報写真部門は表現力や撮影の技術、レイアウトなどを評価している。

2 入賞作品と主な審査講評

広報ちた6月号 入選（応募点数：広報紙部門 28点（市部））

- ・「マニアックだ」と感じるほど、情報てんこもりの内容。プロスポーツと行政が結びつきを深めることは、時には公共事業と関係することもあり、今後の施策に向けた住民理解が不可欠。プロスポーツを通じて地域愛を育てたいという情熱の高さを紙面から感じる。
- ・名古屋オーシャンズを盛り上げようという強い熱意が感じられる。広報にあたり、編集の主題が明確であることは重要。

広報ちた8月号 入選（応募点数：広報写真部門 50点（一枚写真））

- ・単に防空壕だけを撮影するのではなく、幼い兄妹に入ってもらい演出をすることで、防空壕という戦争の遺産を、写真を見る人々に平和の大切さを訴える写真に見事に变身させた。作者の作画意図がよく伝わる1枚となっている。



▲広報ちた6月号(左)と8月号(右)